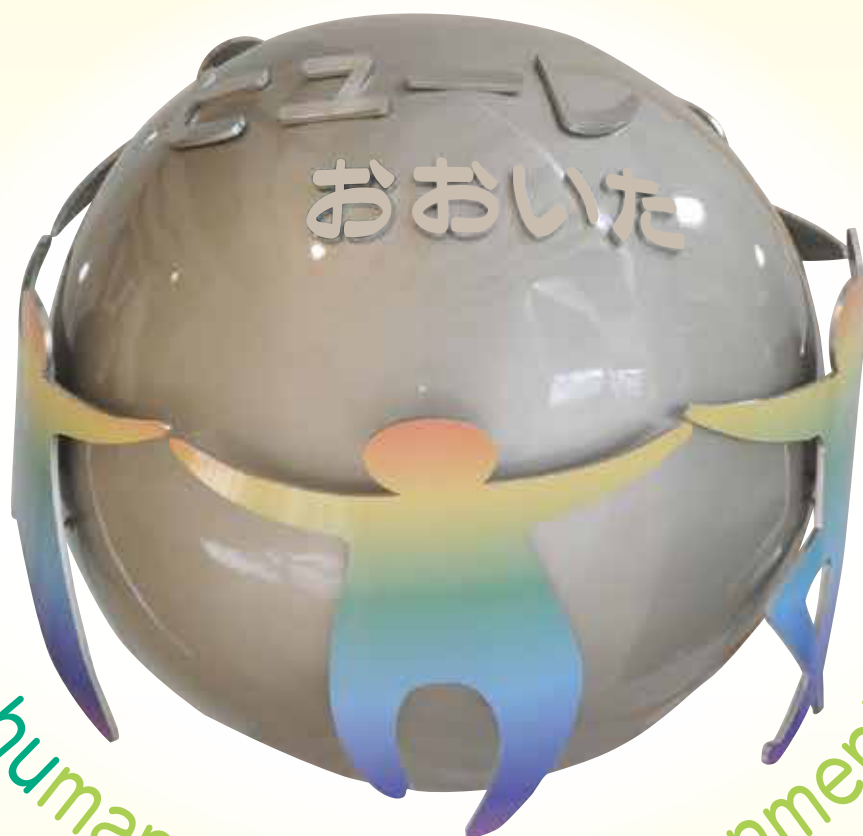


人権啓発センター

ヒューレおおいた

2025



human rights enlightenment



大分市 人権イメージキャラクター「キズナーズ」

1 設置の目的

人権啓発センター(ヒューレおおいた)は、基本的人権尊重の精神に基づき、あらゆる人権問題の解決に向けて人権教育・啓発の推進及び人権に関する情報の収集・提供や市民の交流の促進を図るとともに、相談・支援業務を行うことにより、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

2 設置までの経緯

- 各種団体から「人権教育・啓発センター」設置の要望が出される。
- 2006年(平成18年)10月30日
大分市都市計画マスタープランにおいて、「駅南・情報文化新都心」の形成が位置づけられる中、大分市複合文化交流施設基本構想策定委員会(外部委員会)が設置され、複合文化交流施設についての検討が始まる。
- 2008年(平成20年)6月
(仮称)大分市総合社会福祉センター設置懇話会から、同センター内に大分市が追加提案した「人権啓発センター」の設置について、その必要があるとの報告書が提出される。
また、本報告書において、新たな総合社会福祉センターの設置場所は、市が建設を計画している駅南の複合文化交流施設内とされる。
- 2008年(平成20年)8月
上記報告書を受け、大分市複合文化交流施設事業における公共機能(案)を修正し、以降、「おおいた都心まちづくり計画」策定庁内検討委員会において、「人権啓発センター」の設置について協議が始まる。
- 2009年(平成21年)12月
「大分市複合文化交流施設整備事業推進チーム」が発足し、施設・設備面や運営方法についての具体的な協議が始まる。
- 2011年(平成23年)12月
平成23年第4回定例市議会で、「人権啓発センター」を含む「ホルトホール大分条例」が制定される。
- 2013年(平成25年)4月1日
「人権啓発センター開設準備室」が設置される。
- 2013年(平成25年)7月20日
ホルトホール大分1階に、「人権啓発センター」が開設される。



3 施設の概要

- | | |
|---------|--|
| ① 施設名称 | 人権啓発センター(愛称:ヒューレおおいた) |
| ② 所在地 | 大分市金池南一丁目5番1号 J:COM ホルトホール大分1階 |
| ③ 施設内容 | 展示コーナー、図書・DVD等閲覧コーナー、相談室、福祉総合ミーティングルーム |
| ④ 延べ床面積 | 283.16㎡ |
| ⑤ 開館時間 | 午前9時~午後6時 |
| ⑥ 休館日 | 毎月第2・第4月曜日(ただし、その日が休日に当たる場合は、その後の休日以外の日)
年末年始(12月28日から1月3日) |

4 組織機構図



福祉保健部

人権尊重推進課

旭町文化センター

人権啓発センター
(ヒューレおおいた)

愛称「ヒューレおおいた」の由来

「人権啓発」の英語表記「human rights enlightenment」の頭文字「hu」、「r」、「e」を合わせた造語「hure (ヒューレ)」から愛称を「ヒューレおおいた」とした。

職員体制 2025年(令和7年)4月1日現在

職員数……8人

- 一般職員………3人
- 再任用職員………1人
- 会計年度職員………4人

5 機能及び事業

4つの機能

人権教育・啓発推進機能

あらゆる差別の解消と市民の人権意識の高揚を図り、人権尊重社会を実現するため、市民に密着した効果的な人権教育・啓発を推進する。

- 講座、講演会、研修会等
- 展示事業（常設展示、特別展示）
- 講師紹介

交流・連携機能

人権に関する自主的な活動や学習を支援し、各種団体や関係機関との交流・連携を促進する。

- 学校・団体の受入
- 人権関係団体の支援・交流

情報収集・提供機能

市民の人権意識の高揚を図るため、人権に関する情報提供を行う。

- 人権に関する情報の収集、提供
- 図書・DVDの貸出し
- 広報事業
(センターだより・パンフレット・啓発資料等の作成)

相談・支援機能

人権に関する問題の解決と日常生活における人権救済に向けた相談体制等の充実を図る。

- 人権問題に関する相談
- 人権擁護委員による相談

6 館内の案内

1 展示コーナー

人権啓発パネルや各種資料を常設展示。およそ1か月ごとにテーマを変えて、特別展示も行う。

① 常設展示

同和問題（部落差別）や女性、子ども、高齢者、障がい者などのあらゆる人権問題及び大分市の取組についての人権啓発パネルを常時、展示する。



常設展示「人権啓発パネル」

② 特別展示

およそ1か月ごとにテーマを変えて、パネル等を展示する。



アンネ・フランク展
～希望の未来～
(7月5日～8月5日)



「令和6年能登半島地震」
写真パネル展
(1月4日～2月7日)

2 図書・DVD等閲覧・視聴・情報検索コーナー

人権に関する図書・DVDなどの閲覧や貸出しを行う。
貸出しは、図書3冊、DVD2枚まで。
貸出期間は15日以内。(貸出券の登録申請が必要。)

所蔵数

図書	834冊
DVD	119枚
人権に関するDVDの視聴、 パソコンによる情報検索ができる。	
DVDモニター	2台
パソコン	1台



図書・DVD等閲覧コーナー

3 相談室

人権に関する相談に対応。毎月第1水曜日（午前10時から午後3時）は、人権擁護委員による相談も行う。なお、開館日の午前9時から午後5時までには職員による相談も行う。



相談室

4 福祉総合ミーティングルーム

人権啓発に関する講座や研修会等で利用できる。

使用例

- ヒューレおおいた主催の研修会等
- 小・中学校及び義務教育学校の児童生徒を対象とした人権教育
- 地区人権教育（尊重）推進協議会



福祉総合ミーティングルーム

長机……………18脚	椅子……………55脚	演台……………1台
プロジェクター……1台	スクリーン……………1台	ホワイトボード…1台

5 人権啓発モニター

65インチのモニターを北側廊下壁面に設置し啓発DVD等の上映を行う。

上映内容例

- 「ヒューレおおいた」の紹介
- 特別展等の案内

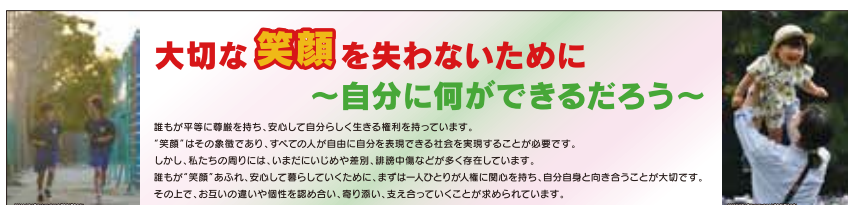


啓発モニター（65インチ）

6 人権啓発大型ポスター掲示板

4mポスター掲示板、2mポスター掲示板（2箇所）及び啓発資料を展示する。

人権尊重社会の実現に向け、市民の人権意識の高揚を図るため、あらゆる人権問題をテーマにした大分市作成のポスター及び啓発資料を掲示する。



4mポスター

7

事業の概要 〈2024年度（令和6年度）の実績〉

1 人権教育・啓発推進機能

1 講座、講演会

リーダー養成講座「にんげんセミナー」

地域や企業、行政等において、人権啓発のリーダーを養成する講座を年10回開催する。

講師

ただ ひろかず しん まさひろ こにし ありさ おく ゆい か たかはし ひでのり かわ ベ じゅんいちろう
多田 公一氏、秦 政博氏、小西 愛里紗氏、奥 結香氏、高橋 秀徳氏、川邊 純一郎氏

受講者数

34人（連続受講）

回	実施日	内 容 ・ 講 師
第1回	8月 8日(木)	「養護学校に勤務して」 多田 公 一 氏
第2回	8月22日(木)	「差別を温存・助長する考え方に向き合う」 川邊 純一郎 氏
第3回	9月 5日(木)	「自分にうそはつきたくない」 多田 公 一 氏
第4回	9月19日(木)	「差別から見た日本の歴史 1」 秦 政 博 氏
第5回	10月 3日(木)	「差別から見た日本の歴史 2」 秦 政 博 氏
第6回	10月17日(木)	「多様な性について知ろう」 奥 結 香 氏
第7回	10月31日(木)	「差別から見た日本の歴史 3」 秦 政 博 氏
第8回	11月14日(木)	「部落差別をはじめあらゆる差別をなくすための教育とは」 高橋 秀 徳 氏
第9回	11月28日(木)	「わたしと部落問題ー日常におこる差別ー」 小西 愛里紗 氏
第10回	12月12日(木)	「同和教育に出会ってよかった～生き方がかわった～」 多田 公 一 氏



第1回講座



第6回講座



第9回講座

これまで受講された企業・団体（敬称略・掲載は順不同）

日本郵便株式会社大分中央郵便局
大分県農業協同組合中西部事業部
九州旅客鉄道株式会社大分支社
西日本電信電話株式会社大分支店
大分バス株式会社
大分交通株式会社
株式会社トキハ
日本製鉄株式会社大分製鉄所
九州電力株式会社大分支社
大分合同新聞社
大分キャノン株式会社
ENOSエネルギー(株)大分製油所
株式会社大分銀行
日本生命保険相互会社
(株)三井E&Sマシナリー大分工場
TOTOアクアテクノ株式会社大分工場
大分信用金庫
大分県信用組合
日本通運株式会社大分支店
太陽生命保険株式会社大分支社
株式会社オーイーシー
九州労働金庫大分県本部
大分市タクシー協会
株式会社別大興産
(株)JR大分シティ
大分市管工事協同組合
株式会社豊和銀行
明治安田生命保険(株)大分支社

株式会社太田旗店
大分市職員労働組合
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
マイタウンサービス(株)
株式会社日本水泳振興会
株式会社ダイプロ
株式会社九電工大分支店
公益財団法人大分市シルバー人材センター
大分リバースタジアム共同企業体
大分県住宅供給公社
コンパルホール共同事業体
ホルトホール大分みらい共同事業体
アートプラザ共同事業体
平和市民公園共同事業体
大分市情報学習センター
(一財)大分市高崎山管理公社
関崎海星館
社会福祉法人大分市福祉会
大分市宇曾山荘
春日町小学校PTA
大道小学校PTA
西の台小学校PTA
南大分小学校PTA
城南小学校PTA
豊府小学校PTA
植田小学校PTA
宗方小学校PTA
金池小学校ひしみの会

上野ヶ丘中学校PTA
王子中学校PTA
大分西中学校PTA
南大分中学校PTA
城南中学校PTA
明野中学校PTA
植田中学校PTA
植田西中学校PTA
頃田学園PTA
大在小学校PTA
南大分地区人権教育推進協議会
大在地区人権教育推進協議会
大南地区人権尊重推進協議会
野津原地区人権教育推進協議会
坂ノ市地区人権教育推進協議会
佐賀関地区人権教育推進協議会
西部地区人権教育推進協議会
城東原川地区人権教育推進協議会
南部地区人権教育推進協議会
鶴崎地区人権教育推進協議会
明野地区人権尊重推進協議会
大分中央地区人権尊重推進協議会
植田地区人権尊重推進協議会
大分人権擁護委員協議会
大分市地域婦人団体連合会

「にんげん劇2024」

市内の中学生・高校生等を対象に、人権の大切さについて考えてもらう演劇を上演する。



にんげん劇「うちの父、かします！」 出演:大分県立大分豊府高等学校演劇部「豊劇(ほうげき)」

② 常設展示

あらゆる人権問題及び大分市の取組等をパネル化し、センター内の壁面に常時、展示するとともに貸出し等も行う。



常設展①



常設展②

③ 特別展示

あらゆる人権問題について学習する契機の提供を目的として、年間計画の中でテーマを設定し、パネル等の展示会を実施する。

特別展（期間）	概 要
Light It Up Blue@「100年の樹」 2024 アート作品展 (4月1日～4月26日)	Light It Up Blue（ライト・イット・アップ・ブルー）は、全世界の人々に自閉症・発達障がいについて理解してもらう取組であり、世界自閉症啓発デーや発達障害啓発週間に合わせ、自閉症をはじめとする発達障がい者等のアート作品を展示。
「江口いと」人権の詩 パネル展 (4月27日～6月4日)	さまざまな人々と出会い、不条理な差別と闘いながら、乏しくともわけあう「博愛の心」や「まことの心」を胸に生きた江口いとさん。人間として、母としての強さと愛情の深さを詩を通して感じていただくパネル展。
「笑顔で暮らしたい、この街で ～犯罪をめぐる人びとの人権～」パネル展 (6月5日～7月2日)	犯罪被害者や被害者の身近にいる人たちの人権、被疑者・被告人とされる人たちの人権についての現状や支援の在り方、取組等についてのパネル展。
アンネ・フランク展 ～希望の未来～ (7月3日～8月5日)	世界でもっとも有名な日記と呼ばれている「アンネの日記」の筆者であるアンネ・フランク家に起こった出来事、日記に描かれた隠れ家や収容所について、家族の中でただ一人生き残った、アンネの父オットー・フランク氏の言葉とともに、平和への想いと活動を紹介したパネル展。
「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」展 (8月6日～9月3日)	唯一の戦争被爆国として核兵器の恐ろしさを広く知っていただき、改めて平和の尊さについて考える機会とするための写真パネル展。
「4コマ劇場 ～フィクションだけどよくある風景～」 「素朴な疑問??」パネル展 (9月4日～10月3日)	日常のふとした出来事を人権問題という視点でとらえ、問題定義を4コママンガで表現したパネル展。 併せて、さまざまな人権問題に関するギモンをQ&A形式で解説したパネル展。
「多様な性を認め合う」パネル展 (10月4日～10月31日)	性について考え、多様性を認め合い、お互いを大切にする社会のあり方について紹介したパネル展。
「触れよう 感じよう心に ～住井すゑ『橋のない川』との出会い～」 パネル展 (11月1日～11月29日)	住井すゑさんの著書「橋のない川」を通して、部落差別の現実、女性への差別、差別への怒りなど、作家「住井すゑ」という人物を知っていただくとともに、人間の命や平和の尊さについて考えていただくためのパネル展。
「考えよう！さまざまな人権」パネル展 (11月30日～12月26日)	女性や子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、性的マイノリティに対する人権問題についての啓発パネル展。
「令和6年能登半島地震」写真パネル展 (1月4日～2月7日)	2024年（令和6年）1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の様子などを記録した報道写真パネル展。
「見た目問題」写真展 (2月8日～3月6日)	外見や容姿などいわゆる「見た目」を重視する社会の価値観の中で自分のままで、自分らしく生きるとすることについて考えるための写真パネル展。
「東日本大震災」写真パネル展 (3月7日～3月28日)	2011年（平成23年）3月11日午後2時46分に発生した「東日本大震災」。震災当時の様子を記録した写真パネル展。



Light It Up Blue@「100年の樹」2024アート作品展
(4月1日～4月26日)



「4コマ劇場～フィクションだけでもよくある風景～」
「素朴な疑問??」パネル展
(9月4日～10月3日)



「考えよう!さまざまな人権」パネル展
(11月30日～12月26日)



「見た目問題」写真展
(2月8日～3月6日)

④ 講師紹介

地域をはじめ企業や行政、学校等が積極的に人権に関する研修会等に取り組むことができるように講師の紹介を行う。

⑤ 夏休み映画上映会

小・中学校及び義務教育学校の夏季休業期間にアニメ映画「アンネ・フランクと旅する日記」を上映する。

⑥ 夏休み障がい者スポーツ体験

パラリンピックの正式種目「ボッチャ」を体験。



⑦ 夏休み人権体験学習

小・中学校及び義務教育学校の夏季休業期間に人権に関する体験学習事業を行う。(教職員等の研修も含む)
※学習内容は、高齢者・妊婦擬似体験、車いす体験、アイマスク体験など

2 交流・連携機能

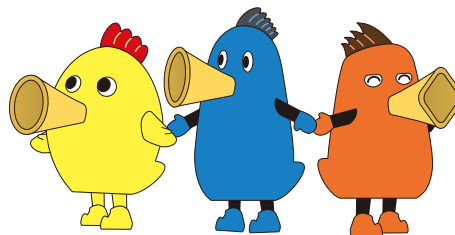
① 学校・団体の受入

学校等の人権教育や各種団体の人権研修を支援するため、小・中学校及び義務教育学校の児童生徒を対象とした講話や体験学習を実施する。

○ 小・中学校及び義務教育学校の受入

学習項目	内 容
講話	人権問題についての講話「心のバリアフリー」、「わたしも大切あなたも大切」など
高齢者・妊婦疑似体験	高齢者・妊婦疑似体験グッズを装着した疑似体験活動
車いす体験	車いすに乗車したり、介助する体験活動
アイマスク体験	アイマスク、白杖を使用した疑似体験活動
バリアフリー設備見学	J:COMホルトホール大分のバリアフリー設備、ユニバーサルデザイン設備の見学
パネル学習	人権問題についての常設展示、特別展示のパネル見学

	児童生徒数
市内小学校・義務教育学校	3,885人
市外小学校（別府市 由布市）	202人
市内中学校・義務教育学校	4,226人
合 計	8,313人



高齢者疑似体験



妊婦疑似体験



車いす体験

○ 団体の受入

受入団体数	人数
31団体	452人

② 人権関係団体の支援・交流

団体相互の交流や連携を図ることを目的に、各人権関係団体の活動資料などを掲示する場の提供を行うとともに、団体を対象とした研修会等を実施する。



地区人権協広報紙の展示

3 情報収集・提供機能

① 人権に関する情報の収集、提供

国内外のさまざまな人権に関する情報や資料を収集し、センター内への掲示等により情報発信する。

② 図書・DVDの貸出し

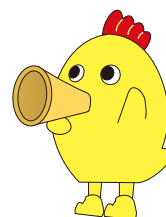
センターが所蔵する人権に関する図書やDVDを市民・団体・企業等に貸出す。

③ 広報事業

人権に関する情報やセンター事業の紹介等を掲載した定期広報紙を発行する。

また、センターのパンフレットや各種の啓発資料等を作成する。

- 広報紙「ヒューレbond (ボンド)」発行 市内全戸配布 (年1回)
- 小・中学校及び義務教育学校用広報紙「ヒューレ通信」発行
小・中学校及び義務教育学校全学級配布 (年2回)



「ヒューレbond (ボンド)」



「ヒューレ通信(夏)」



「ヒューレ通信(冬)」



4 相談・支援機能

人権相談

人権に関する総合的な相談窓口として、面談等による人権相談に応じる。

また、人権擁護委員による相談を毎月第1水曜日に実施する。

相談者数(件数)

26人(26件)

8 年間利用者数

年 度	利用者数
2024年度(令和6年度)	47,056人
2023年度(令和5年度)	37,320人
2022年度(令和4年度)	21,318人
2021年度(令和3年度)	19,664人
2020年度(令和2年度)	16,154人※
2019年度(令和元年度)	47,040人※
2018年度(平成30年度)	48,652人
2017年度(平成29年度)	49,471人
2016年度(平成28年度)	46,518人
2015年度(平成27年度)	50,933人
2014年度(平成26年度)	54,648人
2013年度(平成25年度)	40,769人※

※2020年(令和2年)3月21日～5月17日までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館。

※2013年度(平成25年度)は7月20日(開館)～3月31日





大分市 人権イメージキャラクター

キズナーズ

人権啓発センター（ヒューレおおいた）の開設を契機として人権問題の正しい知識と認識を広め、さらなる人権意識の普及・高揚を目的に、2013年（平成25年）に大分市人権イメージキャラクターとして「キズナーズ」が誕生しました。

キズナーズは、鳥をモチーフに、くちばしをラッパの形状に変え擬人化。

それぞれの名前は「キ・ズ・ナ（絆）」を頭文字に「キッピー・ズタン・ナビー」と名づけました。

人権啓発センター ヒューレおおいた

〒870-0839 大分市金池南一丁目5番1号「J:COM ホルトホール大分」1階

電 話 097-576-7593

FAX 097-544-5708

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 毎月第2・第4月曜日

（ただし、その日が休日に当たる場合は、その後の休日以外の日）
年末年始（12月28日～1月3日）